

※申請内容によっては異なる部門での審査となる場合があります。その際は、あらためて当該部門の申請書の提出を求める場合があります。

**2022 年度 龍谷大学学生活動支援制度
「龍谷チャレンジ」申請書**

ふりがな りゅうこくチャレンジ しゃかいれんけい ぷろじえくと

申請事業名： 龍谷チャレンジ社会連携プロジェクト (☐新規 ・ ☒継続)

※前年度からの継続、またはこれまでに本制度の採択を受けたことのある事業は、「継続」に☑をつけてください。

「継続」の場合

過去の採択事業名： 龍谷チャレンジ社会連携プロジェクト (直近の採択年度：2020 年度)

申請金額： 155,000 円

※支援金は上限 30 万円です。採択となっても申請金額の満額が支払われない場合があります。

1. 申請者の概要

ふりがな 団体・グループ名		龍谷チャレンジ活動チーム		
代表者 (龍谷大学生)		所属学部・学科	学籍番号	氏 名
		●●●●●	0999999	(ふりがな) りゅうこく たろう 龍谷 太郎
団体・グループについて	活動開始年月	2020 年 4 月 (活動年数 2 年)		
	主な活動	〇〇地域で生産される小麦の収穫の体験会実施と、社会連携に関するワークショップや講座の開催。		
	構成員 ※代表者以外	合計 10 人		
		所属学部・学科	学籍番号	氏 名
		●●●●●	0987654	深草 一郎
		●●●●●	0876543	深草 次郎
		●●●●●	0765432	深草 松子
		●●●●●	0654321	深草 梅子
		●●●●●	Z123456	瀬田 太郎
		●●●●●	Z234567	瀬田 三郎
●●●●●		Z345678	瀬田 花子	
●●●●●	Z456789	大宮 大助		
●●●●●	Z567890	大宮 華子		
※上記以外にメンバーがいる場合は別紙で添付してください。				
団体の Web サイト、SNS 等 ※ある場合	https://withdragon.rec.seta.ryukoku.ac.jp/			
連絡先	担当者名	龍谷 太郎		
	電話番号	080-0000-00XX		
	E-Mail ※審査結果の通知先	rec@mail.ryukoku.ac.jp		

※申請書記入例をポータルサイトに掲載していますので、参考になしてください。

2. 事業の概要

申請する事業名	龍谷チャレンジ社会連携プロジェクト
事業の実施期間	2022 年 4 月～2023 年 1 月
主に事業を行う場所	龍谷大学深草町家キャンパス
SDGs の 17 の目標のうち、当てはまるものをチェック (複数回答可)	☒ 目標 1 貧困をなくそう ☐ 目標 2 飢餓をゼロに ☐ 目標 3 すべての人に健康と福祉を ☒ 目標 4 質の高い教育をみんなに ☐ 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう ☐ 目標 6 安全な水とトイレを世界中に ☐ 目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに ☐ 目標 8 働きがいも経済成長も ☐ 目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう ☐ 目標 10 人や国の不平等をなくそう ☒ 目標 11 住み続けられるまちづくりを ☐ 目標 12 つくる責任つかう責任 ☐ 目標 13 気候変動に具体的な対策を ☐ 目標 14 海の豊かさを守ろう ☒ 目標 15 陸の豊かさを守ろう ☐ 目標 16 平和と公正をすべての人に ☒ 目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう ☐ 上記目標に該当しないが、社会をとりまく諸問題の解決、地域振興、社会貢献に寄与する取り組みである。
本事業の意義	社会連携に関する情報を得ることで、他の連携活動に活かすことができる
どのような目的で事業を実施するのか・事業の効果	《事業の目的》 〇〇地域で生産される〇〇小麦の知名度アップを目指す。 また、社会連携に関するワークショップや講演を開催し、本学の学生や地域の方々に、社会連携活動を知ってもらい、それぞれの活動の更なる発展を目指す。 《社会的ニーズ》 〇〇小麦は年々生産を行う農家が減少していることから、収穫体験会を通じた関係人口増加を期待する声が挙がっている。 また、2021 年度に当団体が実施したアンケート (https://...a/b/c...掲載) では、龍谷大学生や町家キャンパス周辺にお住いの地域の方から、「社会連携と言っても何をしたいかわからない。」「参考になる活動を知りたい。」という要望が多く寄せられた。 《達成したい具体的成果》 ・収穫体験会 1 回 (参加人数 10 名) ・オンライン講演会 2 回 (視聴人数各 50 名) ・対面型ワークショップ 1 回 (参加人数 20 名) ・これらの内容をまとめた Web ページの作成 (2000View 達成)

※ニーズの記載に当たっては、できる限り、地域等の関係機関から意見を聞いて記載してください。

事業内容	【事業内容】 ○○地域で生産される○○小麦の知名度アップを目指し、地元の団体○○○○と連携し、収穫体験会を実施する。 また、社会連携に関するワークショップ（対面・1回）と講演会（オンライン・2回）を開催し、その模様などをまとめた当団体 Web ページを更新する。 ワークショップでは「地域と食」をテーマに、地域の方々を招き、龍谷大学生と一緒に、連携先○○○○で収穫した小麦を材料にしたうどんづくりを行う。 オンライン（Zoom）を利用した講演会は、第1回のテーマを「深草の過去と未来」として、NP0 法人●●の代表●●●●氏の講演を予定している。第2回は第1回の講演終了後に実施するアンケートの結果を基に、テーマ設定を行う。 そして、これらの活動の模様をまとめた Web ページを作成し、参加できなかった方や社会に向けて、広く情報発信を行う。 ※新型コロナウイルス感染症の流行状況などによって、ワークショップの内容を変更（調理・飲食を行わないなど）する場合があります。 【事業実施に向けた連携団体や関係先との調整の状況】 <u>※必ず記載してください。</u> ○○○○ ・収穫体験会の日程を調整中 ・昨年収穫した小麦から作られた小麦粉の提供（2021 年度に了解済） NP0 法人●● 8 月下旬（予定）に講演を依頼中＜メール返信待ち＞ 【事業の実施スケジュール】 7 月 連携先○○○○で小麦の収穫体験 8 月下旬 オンライン講演会（第1回） 9 月 講演会アンケート集計・第2回講演会テーマ設定 10 月 第2回講演会講師依頼、ワークショップ実施準備 11 月 ワークショップ開催（11 月 11 日予定） 1 月 第2回講演会実施、Web ページ原稿作成 2 月 Web ページ掲載	
連携する団体とそれぞれの役割 【必須】	団体名 ○○○○	役割 ○○小麦収穫体験先
これまで貴団体が地域等と連携して取り組んだ実績 ※ある場合は記入してください		

3. 予算書

事業経費			
内容	支出予定額(A)	うち本支援金額	(支出予定額(A))の内訳
交通費(〇〇～深草)	60,000 円	60,000 円	〇〇～深草①、瀬田②往復 ①2,000 円×4 回×5 名 ②1,000 円×4 回×5 名
郵送費	5,000 円	5,000 円	84 円×20 通、宅配便 2 回
印刷製本費	15,000 円	15,000 円	各イベント募集チラシ印刷 A6 サイズ 500 枚×10 円×3 回
資料費	5,000 円	5,000 円	講演テーマ関連書籍の購入 (3,000 円・2～3 冊ほど)
消耗品費	15,000 円	15,000 円	ワークショップ実施時消耗品
謝礼金	30,000 円	30,000 円	講演会、ワークショップ講師 への謝礼(10,000 円×3)
その他	5,000 円	5,000 円	収穫体験会、ワークショップ 時の参加者保険料
その他	20,000 円	20,000 円	レンタルサーバー(1 年間)
合計	155,000 円	155,000 円	

収入額 ※龍谷チャレンジ支援金は含まない		
内容	収入予定額	内訳
収穫体験会参加費	5,000 円	500 円×10 名
ワークショップ参加費	10,000 円	500 円×20 名
合計	15,000 円	

○他の助成金を受給しているまたは申請している場合(予定を含む)は、助成申請事業名、申請先、収入額(申請額)決定日(予定)を下表に必ず記入してください。

助成申請事業名	申請先(制度名称)	収入額(申請額)(円)	決定日(予定)

○“3ZERO Club”への参加を希望 ☒する・☐しない。(どちらかに☒してください)

以上